

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（2月号）

1. JA全農と通りの取り組み

中央物流センター本格稼働

中央物流センターは令和元年10月に稼働し、令和2年7月よりJA鳥取中央管内すべての地域を対象に稼働を始め、春の農作業繁忙期を前にピッキング作業・配送のピークを迎えている。

当センターは肥料の在庫管理、農薬の合理的な配送計画により戸配送、集落配送に対応している。物流の合理化による生産資材価格の抑制と合わせて、生産資材の安定供給と組合員のさらなる利便性向上を目指し取り組んでいる。



本会職員並びに業務委託先によるピッキング作業の様子

2. JA鳥取信連の取り組み

わくわくよりぞうポイントキャンペーン第3期当選者決定！

“わくわくよりぞうポイントキャンペーン”の最終となる第3期抽選会が1月20日、3JAの本所（店）で実施された。

応募総数は、JA鳥取いなばが1,652枚、JA鳥取中央が2,525枚、JA鳥取西部が2,993枚の合計7,170枚であった。令和2年4月から12月の9ヵ月間、幅広い世代にJAの魅力ある商品をPRし、JAを身近に感じていただけるキャンペーンとなった。



各JAの抽選会場では、第1期から集まった抽選箱いっぱいの応募用紙に、利用者に愛され支えられていること、キャンペーンにおいて各JAの職員が努力したことを改めて実感できる抽選会となった。

3. JA共済連鳥取の取り組み

社会保障制度研修会について

1月22日、LA（ライフアドバイザー）を対象に、ひと保障を提案するうえで必要な知識を習得するため、「社会保障制度研修会」を開催した。

現在、社会情勢は「少子高齢化」「人生100年時代」等、数十年前に比べると大きく変化している。組合員・利用者の必要とする保障内容も、従来の入院・死亡を保障するものだけでなく、退院後の治療費、介護・身体障害状態を保障するもの等、多種多様なものとなっている（下図参照）。そのために必要な社会保障制度に関する基礎知識と、共済の活用ポイントを学習した。

【ひと保障あんしんチェックシート】

ひと保障あんしんチェックシート ～生活にひそむリスクを一緒に考えませんか？～		お名前	作成日			
			様	年	月	日
リスク	病気・ケガ がん	重い生活習慣病 三大疾病	身体障害状態 介護状態	死亡		
かかる費用	入院・手術費用 先進医療 	通院費・リハビリ費用 自宅療養費 	生活費の増加・収入の減少 リハビリ費用・介護費用 	残された家族の生活費 葬儀費用・相続税（争族） 		
ご加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 医療共済 <input checked="" type="checkbox"/> がん共済 <input type="checkbox"/> 他社加入	<input checked="" type="checkbox"/> 身近なリスクに モタール <input checked="" type="checkbox"/> 他社加入	<input checked="" type="checkbox"/> 働くわたしの モタール <input checked="" type="checkbox"/> 介護共済 <input type="checkbox"/> 他社加入	<input checked="" type="checkbox"/> 終身共済 <input checked="" type="checkbox"/> 定期生命共済 <input type="checkbox"/> 他社加入		

※令和2年4月現在の法令にもとづき記載しています。将来の取扱いを保証するものではありませんので、ご了承ください。また、令和2年4月時点の仕組みを記載しています。

研修は外部講師によるものであったが、新型コロナウイルスの影響もあり、今回はLAの使用するLablet's（携帯用端末）と講師のパソコンを繋いだ「オンライン研修」により実施した。受講したLAからは「制度の説明だけでなく、実践で使える言い回しなどもあり、参考になった」と好評だった。

今後も「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じ、組合員・利用者により安心と満足を提供できるよう、知識・提案力向上に努めていく。

以上